

平成 29 年 10 月 4 日

各 位

株式会社新生銀行
新生企業投資株式会社**子育て支援ファンドによるユニファ株式会社への投資実行について**

株式会社新生銀行(東京都中央区、代表取締役社長 工藤 英之、以下、「新生銀行」と)と新生企業投資株式会社(東京都千代田区、代表取締役社長 松原 一平、以下、「SCI」)は、共同で設立した「日本インパクト投資 1 号投資事業有限責任組合」(以下「子育て支援ファンド」)を通じて、ユニファ株式会社(愛知県名古屋市、代表者 土岐 泰之、以下「ユニファ」)が実施する第三者割当増資を引き受けました。

ユニファは、「家族ポータルメディア」の創造をコンセプトに、保育園・幼稚園・学童・習い事教室など向け専用のインターネット写真販売サービス「るくみーフォト」を平成 25 年 7 月より提供しています。当サービスは、画像認識機能やアプリ機能など最新の IT 技術を活用し、撮影した写真のアップロードから保護者による閲覧、集金、集計、写真のプリントから配送までをほぼ自動化し、保育園や幼稚園の写真販売にかかる業務を大幅に軽減したサービスで、これまでに全国で 1,800 施設以上への導入実績があります。さらに、園児の写真の自動撮影や登校管理、ダンス・クイズなどにより園児と一緒に遊ぶ機能を持つ園児見守りロボット「MEEBO(みーぼ)」を平成 27 年 8 月にリリースしたほか、園児の日々の様子や食事・睡眠などの健康情報などが記録された紙の連絡帳をデジタル化した「るくみーnote」などを提供しています。これらのサービスを活用した、人手不足で負担が増している保育士の業務支援にも役立つ「スマート保育園構想」や、子ども専用で作った IoT(Internet of Things)サービスモデルが評価され、平成 29 年 3 月には米国サンフランシスコで開催された「第 1 回スタートアップワールドカップ」(主催:フェノックスベンチャーキャピタル)決勝大会にて優勝しています。

ユニファでは、「るくみーフォト」事業の拡大と、今回新規に立ち上げを行う「ヘルスケア IoT」事業のシステム開発および人材投資などのため、第三者割当増資による総額約 10.2 億円の資金調達を平成 29 年 7 月 10 日に完了しており、新生銀行と新生企業投資は子育て支援ファンドを通じて、その一部の引受を平成 29 年 6 月 30 日付で行いました。

子育て支援ファンドは、国内の子育て関連事業へのインパクト投資[※]を行うため、新生銀行と新生企業投資が平成 29 年 1 月に設立したファンドで、保育や学童、教育、家庭支援、育児と介護の両立支援などの事業や、女性活躍支援などのワークライフバランスに関する子育て関連事業を営むアーリーからレイターステージの企業を投資対象に、1 件当たり 5 千万円程度の規模で投資を行います。これまでに、株式会社ママスクエア(東京都港区、代表取締役 藤代 聡)や習い事・送迎サービス付学童保育の運営を行う株式会社ウィズダムアカデミー(東京都豊島区、代表取締役 鈴木 良和)への出資を行っています。新生銀行と新生企業投資では、投資対象のさらなる発掘、育成に取り組んでまいります。

[※]経済的なりターンと社会的なりターンの両立を目指す投資。

【ユニファ株式会社の概要】

名 称 : ユニファ株式会社
設 立 日 : 平成 25 年 5 月 29 日
代 表 者 : 代表取締役 土岐 泰之
本 社 所 在 地 : 愛知県名古屋市中区丸の内 2-16-3 丸の内 A・T ビル 10 階
事 業 内 容 : 家族コミュニケーションを豊かにするポータルメディア事業
資 本 金 : 13 億 3,948 万円(第三者割当増資後、資本準備金含む)

以 上